

令和2年刑（わ）第[REDACTED]号

被告人供述調書

（この調書は、第2回公判調書と一体となるものである。） 裁判所書記官



氏名 [REDACTED]

質問及び供述

別紙反訳書記載のとおり

以上

弁護人

まず、 さんの経歴についてお尋ねしたいと思います。大学までの経歴について、教えてください。

私は2000年に[]校に入学し、卒業し、1年浪人して、[]に入学しました。

大学ではどんなことを勉強していたんですか。

コンピューターサイエンスを勉強していました。

大学時代からインターネット上で活動しておられましたね。

はい。

どんな活動をしていましたか。

自分で書いたプログラムを公開したり、また、自分で開発したウェブサービスを公開して運用したりしていました。

どんなウェブサービスを作っていたのですか。

幾つか作りましたが、一番人気が出たのはふぁぼったーというウェブサービスです。

ふぁぼったーというのは、どういうものですか。

これを公開したのは2007年、ツイッターが出てきた当時なんですけれども、当時も今と同じくツイッター上では、今でいういいね、当時はフェイスバット、お気に入りと呼ばれていましたが、いいねが、ツイートに対していいねを付けるという機能がありました。しかし、当時はいいねを付けてもそれが分かるのはいいねを付けた人で、そのツイートをした本人は誰かにいいねされたというのを知ることができませんでした。それは私は不便だと思ったので、ツイッター上のデータを集計して、自分のツイートが何回いいねされたかというのを集計表示するというプログラムを開発して、ウェブサービスとして公開しました。

そのふぁぼったーというのは、当時、人気があったんですか。

はい。やはり自分の発言については、いいねが付くというのはとても便利な機能でしたので、当時ツイッターをアクティブに使っていたユーザーは大体皆さん知っていただいているか、使っていたいただいているという状況で、最盛期には月間1000万アクセスの人気がありました。そうしたプログラムの開発とかサービスの公開というのは本名で行っていたのですか。

いいえ。小野マトペというハンドルネームを使っていました。小野マトペというのはちょっと奇妙な響きに思えるんですけども、これはどういう由来なんですか。

由来としては、外来語のオノマトペという言語学上の言葉というか、概念で、オノマトペというのは、さらさらとか、わくわくとか、そういう擬音語、擬態語を表す言語学上の概念です。そのオノマトペという言葉自体が、響き自体が可愛らしいですし、そのオノという部分が日本人の名字のオノのように見えて、人名のように使ったら面白いんじゃないかと思って、一種のダジャレみたいな形でオノマトペというハンドルネームを名乗るようになりました。

大学を卒業した後、どういう進路に進みましたか。

2008年にヤフー株式会社にソフトウェアエンジニアとして入社しました。

ヤフーではどんな仕事をしていましたか。

全社の技術プラットフォームを開発する部署に配属されまして、そこで主に分散データベースや分散ストレージを研究開発していました。ストレージというのは、データを蓄積する機能のことですね。

はい。

分散ストレージというのは、複数の機械にデータを分散して蓄積する、そう

いったものと考えてよろしいですか。

はい。

ヤフーには何年まで勤めていましたか。

2019年8月末まで勤めていました。

ヤフーを辞めた後は、どういう進路に進みましたか。

2019年に[]に入社し、[]しました。

2019年9月からですね。

そうですね、はい。

[]ではどんなお仕事をしていましたか。

[]の認証認可をつかさどるプラットフォームのチームに配属されて、そこで認証認可プラットフォームの開発に従事していました。認証認可というのは、システムにユーザーがログオンしたりログアウトしたり、そういったものをつかさどる機能と考えてよろしいですか。

はい。

これまでに前科前歴はありますか。

いいえ、ありません。

少年時代も含めて、何か補導されたことはありますか。

ありません。

警察に逮捕されたのは本件が初めてということですね。

はい。初めてです。

では、次に、あなたの健康状態についてお尋ねしたいと思います。何か持病をお持ちですか。

ADHDと睡眠障害を持っています。

ADHDというのはどんな病気ですか。

正式名称は注意欠陥多動性障害といいまして、いわゆる発達障害の一つです。

ADHDはどんな症状が出ますか。

年齢に見合わない不注意さや、じっとしていられない多動、若しくはあまり後先のことを考えずに行動したり発言してしまうという衝動性みたいなものが、脳の生まれつきの障害として、特性として、そういう性質があるという障害です。

具体的にそのADHDに伴う特性によって、これまでどんな不都合があったのか、幾つか説明してもらえますか。

生活の中でも忘れ物が多くて、仕事で使うパソコンを家に忘れて出社してしまったり、電車に逆に乗ってしまったり、料理をしても、焼き鮭を焼こうとしてボヤになりかけてしまったりとか。あとは面接のときも面接の日付を間違えてしまったりとか、あるいは海外旅行に行き、帰りのフライトのチケットをなくしてしまうなど、不注意という面では、そういったことがあります。他に、あとは後先考えることができないというか、周りの状況をあまり深く考えることができず発言してしまうという意味では、その特性が原因で人間関係の問題というのが起きがちでしたし、具体的なエピソードが一つあるんですが。それは、私がこの騒動で逮捕された後、釈放されて、会社のみんなに心配をかけまいと、社内のチャットに私は無事ですということを書き込んだんですけども、みんなをあまり心配させすぎないように絵文字とかを使って、軽いノリで冗談とかを交えて書いてしまったんですけども、今にして思えば、当時、会社名含めて事件が報道されていて、全社員がとてもピリピリしている状態で、そういう状態で、チーム内のチャットとはいえ、誰でも検索すれば見れる状態だったので、

今から思えば、そういう影響を考えることができないという特性の結

果だったのではないかと考えています。

ADHDについて、何か治療法はあるんですか。

例えばコンサータとかストラテラといった薬があって、その投薬による治療というのはあるそうです。

あなたはそういった治療を受けていますか。

いいえ、受けていません。

なぜ治療を受けていないんですか。

自分が発達障害だという病識を持ったのが最近ということもありますし、副作用とかもあると聞きましたので、今のところはまだ投薬の決心はできていません。

今後、治療をするつもりはありますか。

医師と相談の上、慎重に検討したいと思っています。

先ほどADHDは生まれつきの特性だというふうにおっしゃっていましたが、それは必ず生まれつきのものとして出るのか、それとも健康な人がある日突然発症することがあるのか、どちらですか。

生まれつきのものです。

そうすると、あなたが自分がADHDだと認識したのは最近であっても、生まれてからずっとそうだったということですね。

そうですね、はい。改めて子供の頃の、小学校の頃の通信簿とかを見ると、かなり、いわゆる他動的な傾向のある子供だったということが後から分かりました。

先ほどADHDと睡眠障害というふうに持病をおっしゃっていましたが、睡眠障害というのは、どういうことですか。

正確にいうと睡眠相後退症候群といいまして、夜、床に就いても頭が冴えてしまってもうまく眠れない、で、朝起きるのが遅くなってしまう。で、どんどん睡眠リズムが後ろのほうに後ろのほうにずれていってし

もうという睡眠障害の一種です。

どのくらい前からそれを患ってますか。

症状としては、恐らく高校生ぐらいから出ていたような気はするんですが、ちゃんと診断を受けて、通院を始めたのは確か2015年とか、それぐらいだったと思います。

現在、あなたはその睡眠障害に関して治療を受けていますか。

はい、受けています。

どんな治療ですか。

マイスリーという睡眠導入剤を服用しています。

そういった治療を受けながらだったら満足に眠れますか。

眠れるときもありますし、薬を飲んでもうまく眠れずに、朝まで眠れないという日もあります。

次に事件当日のことについてお伺いしたいと思います。3月17日、あなたは何時頃起きましたか。

記録によると、恐らく9時頃起きたんだと思います。

会社にはいつ頃たどり着きましたか。

11時ぐらい、午前中だったと思います。

朝起きてから会社に移動するまでの間、トラブルはありませんでしたか。

ありました。

どんなトラブルでしたか。

当時、既に2月後半からうちの会社はリモートワークだったんですが、その当日は私が東京の方面に飲み会の用事があったので、久しぶりに会社に出社して仕事をしようと思いました。で、出社したんですけれども、途中で、久々に電車に乗ったということで最寄駅から逆方向の電車に乗ってしまって、2駅行ってしまったりとか。気を取り直して会社に行ったんですけれども、会社に着いたら、仕事で使うノートパ

ソコンを家に忘れてきたことに気が付いたとか、そういうトラブルが多かった日でした。

会社では、何時頃まで仕事をしていましたか。

8時過ぎぐらいです。

どんな仕事をしていたのですか。

ノートパソコンを忘れてしまったので、コードレビューであるとか、i P a dは持っていたので、その日はストリーミングで全社集会を見るとか、コードレビューをするとか、そういうi P a dでもできる仕事でしたので、そういう仕事をしていました。

お話を聞く限り、ずいぶん不安定な日だったようですね、前日はよく眠れていましたか。

いいえ、あまり眠れませんでした。

前日寝入ったのは、何時頃でしたか。

記録によると、たぶん5時ぐらいまでは寝れずに起きていたようです。

朝の5時に寝て朝の9時に起きたということですか。

そうなります。

3月17日、会社を出た後、どんな予定がありましたか。

友人の[REDACTED]くんが主催する誕生日会というか、飲み会ですね、がありました。

[REDACTED]さんとはどんな関係ですか。

ヤフー時代の新卒の同期でした。

飲み会は、どこで行う予定でしたか。

神保町の、[REDACTED]店です。

[REDACTED]をその飲み会以前に使ったことはありますか。

ありません。

神保町店ということは、[REDACTED]はチェーン店で複数店舗があるんですか。

あるそうです。

他のお店、他の[REDACTED]は使ったことがありますか。

ありません。

[REDACTED]さんとの飲み会は、何時から始まる予定でしたか。

午後8時から始まる予定でした。

先ほどのお話ですと、会社を出たのは8時過ぎというふうにお聞きしたんですが、そうすると、もう遅刻していたということですか。

そうですね、はい。

その遅刻には何か理由があったんですか。

特段ないと思います。日頃から割と時間には遅れがちでしたので、特にその日に何か理由があったということではないです。

8時15日分に「私はコロナだ」とツイッターに投稿したのは覚えていますか。

はい。

当時、あなたは新型コロナウイルスに感染していたんですか。

いいえ、感染していません。

そうすると、このツイートはどういう意味なんでしょうか。

あれは、[REDACTED]さんの飲み会に向かう道すがら、スマホでツイッターを見たり、ネットを見たりしていたんですけれども、その中で、群馬で、電車である男性が乗客トラブルで、「私はコロナだ」ということを言って、業務妨害で逮捕されたというようなニュースの見出しを見ました。このとき初めて見たのか、前日見て、それを思い出したただけなのか、それともどちらとも見ていたのかというのは覚えてはいないのですが。で、その見出しを見て、私は、その見出しの中の俺はコロナ

だというフレーズというかセリフに、どこかしら何かインパクトというか、ちょっとおかしさみたいなものを覚えて、少しその面白い見出しに対してのリアクションのようなものをツイッターに記そうと考えて、その見出しから、抜粋する形で、反復引用して、「私はコロナだ」と投稿しました。

そのおもしろみというのについてちょっと話してほしいんですけども。どういう点が面白いと感じたんでしょうか。

いわゆる言語学でいうところのうなぎ文と同じ構造を持っていたところに、何というか、面白さを感じたんだと思います。

うなぎ文ということについて説明してもらえますか。

言語学上の用語なんですけれども、うなぎ文というのは、例えば料理屋さんとかで、あなたは何か食べますかみたいなふうに聞いたときに、私はうなぎを食べるみたいに言うことはありますけど、「うなぎを食べる」の「食べる」を「だ」と省略して、私はうなぎだと省略として言うことも日本語としては成立します。ですけれども、私はうなぎだと言ってしまうと、文脈を剥ぎ取って文字通り読むと、英語でいえば I am a n e e l. 私がうなぎなんだという、実はうなぎなんだという告白をしているというちょっと変な文章になってしまいます。でも、本人がうなぎではないことは明白なのにうなぎだと言ってるような。で、少しそれはパラドックスというか、面白いですねというのが、言語学におけるうなぎ文という概念になります。

そうすると、あなたは、俺はコロナだ、私はコロナだという発言が発話者がコロナウイルスであるかのように感じて面白いと思ったわけですか。

はい。その彼がコロナだみたいな意味に取れて、面白いと思いました。あなたの「私はコロナだ」というツイートに対する反応はありましたか。

はい。面識のないフォロワーが、リプライをそのツイートに付与しま

した。

どんな内容でしたか。

「ヤバイヤバイw」という表記だったと思います。

「w」というのは、どういう意味ですか。

「w」というのは、いわば（笑）が転化したインターネット上の符号です。

そうすると、このリプライというのは、あなたが言った発言を冗談であると分かっていて、その冗談について反応したということですか。

そういうことになると思います。

あなたは、その反応はいつ頃見ましたか。

すみません、正直、そのリプライをいつ見たのかという点に関しては正確な記憶がありません。当時、自分のスマホは会社の業務用携帯としても使っていて、常時何らかの通知が来ている状態でしたから、その中からそのリプライの通知をいつどこで見て、どう思ったのかということに関しては、正確な記憶がありません。ただ、飲み会の間のどこかで見たのではないかと思います。

先ほどの1個目のツイートの約1時間後、9時14分に「濃厚接触の会」と投稿したのは覚えていますか。

覚えています。

濃厚接触というのはどういう意味ですか。

当時、メディアで多人数での飲み会であるとか、カラオケであるとか、そういうイベントというのは濃厚接触です、できるだけ避けましょうみたいな形で紹介されていました。ですので、私は、あの飲み会、10人以上参加者がいたと思うんですけども、その状況というのも、まあ濃厚接触だろうなと思い、私が楽しく飲み会を飲んでいるというツイートをするとき、その言葉を一種の流行り言葉というか、時事

ネタとして言い換えて見たというものになります。

当時のツイートにおいて、そういうふうな友人同士の集まりなどを濃厚接触と呼んで冗談とする、そういった投稿というのはあなた以外にありましたか。

あったと思います。

先ほどの1個目のツイート、「私はコロナだ」というツイートがありましたけれども、これと、この2個目のツイートというのは続きものですか。

続きものではありません。

ツイッターには複数のツイートを続きものであると明示する方法がありますね。

はい。

どういう機能を使えばできますか。

リプライとかツリーとか呼ばれる機能です。

あなたはそれをこの二つのツイートに際して使いましたか。

いいえ、使っていません。

2個目のツイート、濃厚接触の会というほうには写真が添付されていますね。

はい。

どんな写真だったか、覚えていますか。

飲み会の店舗の私が座っていたテーブルの上の写真です。

写真の中にお店のロゴが写ってるんですけども、それは記憶にありますか。

はい、写っていました。

当時、店のロゴが写っていることを認識して、投稿しましたか。

いいえ。何らかの図柄がグラスの上に記載されているなという認識はたぶんあったと思いますが、それがお店のロゴなのか、あるいはビールメーカーのロゴなのかといったことまでは私は分かりません。というか気にしていませんでした。

このグラスのロゴの色でどのお店か、店舗が特定できるらしいんですけど

も、それは知っていましたか。

知りませんでした。

ツイートの中に店舗の名前とか位置情報は記載しましたか。

いいえ、記載していません。

仮にですけれども、仮にあなたがお店に恨みを持っていて、嫌がらせをしてやろうと思っていたら、どういうふうにすると思いますか。

もし嫌がらせをしたいのであれば、やはりネット上の書き込みとかで何か迷惑をかけようとした場合、場所を明示する、みんなに知らせるというのは極めて重要ですので、写真の中のガラスのロゴでそれを知らせるという方法ではなくて、ツイートにテキストとして、そのお店の名前を直接記載するだろうというのが、まず一つです。その上で、私のツイートは二つに分かれていて、特にツリーとしても連携させていませんが、で、そのツイートは1時間離れています。1時間離れたツイートを連携した、同じ文脈上のものと認識させるのは難しいというか、少なくともそれを見た人の同じ画面の中にその二つのツイートが出てくるという状況には基本的になりませんので、確実にその嫌がらせが成功するためには、その二つのツイートを時間的にもっと接近させる。例えば一、二分ぐらいしか空けずに二つのツイートを投稿する、若しくは時間が離れていたとしても、リプライツリーできちんとその文脈がつながるように確実に紐付ける、若しくはそもそもツイッターは一つのことを言いたかったらツイートを分けてしまうと文脈がバラバラになってうまく伝わらないという性質がありますので、そもそもツイートを分割せず、一つのツイート内で嫌がらせに使う情報を完結させる。つまり、「私はコロナだ」、何々店舗にいるみたいなことを一つのツイートで表現するなどの方法を取ったはずだと思います。

今のは仮定の話でしたけれども、あなたは実際にはそうした嫌がらせの意図

がなかったので、そういった方法は取らなかったということですか。

はい。取りませんでした。

あなたは、2個目のツイートに添付した写真を撮る前にもう1枚、写真を撮っていますね。

はい。

どんな写真だったか、覚えていますか。

2枚目の写真は、もっと私のテーブル、私から見て左側を向いて撮影した写真でしたが、1枚目はもっと正面を向いた写真でした。

2枚の中から2枚目の写真を選んで投稿した理由というのは、どういうことですか。

私は楽しい飲み会に参加してるということをツイッターに投稿したいと思い、まず、普通に自分の前の部分のテーブルの様子写真を撮影しました。ですが、その1枚目の写真に前に座っている人のネームプレートが写真に写り込んでしまいました。■■■■■さんの誕生日会で、■■■■■さんのいろんな知り合いが参加していたパーティーでしたので、お互いに名前を知らない人同士というのが多かったために、一種のオフ会のような状態で、そういうオフ会では、大体名札を配って、首から下げて、誰々ですというのが分かるようになっているんですけども。で、私が撮った写真の上のほうにネームプレートが少し写り込んでしまいました。これをもし上げて個人情報ネットに上げられてしまっちはまずいなと思ひまして、1枚目を使うのをやめました。そして、そのネームプレートが写るのを避けるために、私は左のほうを向き直して撮影することにしました。ですが、左のほうを向くと、1枚目よりもテーブルの上のものが少なくて、絵としてさびしくなってしまうので、カメラ写りをよくするためというかに、グラスを少し角度と位置を変更しました。で、2枚目を撮影しました。ですが、2枚

目を撮影したところ、画面の上のほうに私の左に座っていた人、確か
■■■■くんだったと思うんですけども、のスマホの画面が少し写り
込んでしまったんですね。で、スマホの画面、もちろんそれをネット
に上げてはまずいですが、3枚目を撮り直すのもめんどくさかったの
で、ツイッターのアプリ上で上下をトリミングして、その写真をツイ
ッターに投稿することにしました。

写真を選んだり加工したりする上で、お店のロゴが写るよという意識は
ありましたか。

いいえ、ありませんでした。

1個目のツイートと2個目のツイートをつなげて読むと、変な取られ方をす
るんじゃないかと、そういうことはありませんでしたか。

そのときは気が付きませんでした。

次に、取調べ状況についてお伺いしたいと思います。警察に本件で初めて取
調べを受けたのはいつのことですか。

6月19日だったと思います。

どういう経緯で取調べが始まりましたか。

その日の朝に私の自宅に神田警察の警察官の方がいらっしやいまして、
私に当時のスクリーンショットを見せまして、君、これ投稿したね、
と言われまして、そのまま任意で神田署に連れていかれまして、そこ
で任意の取調べを午前から午後いっぱい受けました。

その際には逮捕はされましたか。

いいえ、されていません。

特に黙秘を貫いたり、うそを言ったり、そういった何か捜査妨害に当たるよ
うなことはしましたか。

いいえ、すべて正直にお話ししました。

後日、逮捕されていますね。

はい。

いつのことだったか、記憶にありますか。

7月29日です。

正直に話していたのに、どんな理由で逮捕されてしまったのか、それは聞かせてもらいましたか。

はい。警察官の方が教えてくれてまして、犯意について曖昧な供述がある、うそをついてるんじゃないかということになった、と説明を受けました。

故意を否認したから逮捕されてしまったということですか。

はい。そういうことだと理解しました。

それを聞いて、どう思いましたか。

取調べの中で本当にその投稿が自分の不注意だった、いたずらをするという意図は全くなかったということを話したというのは本心からでしたので、困ったことになったなというのが正直なところで、あとは、故意があったと言わないと、帰してもらえないんじゃないかという気持ちになりました。

逮捕後は勾留されましたか。

いいえ。勾留請求は棄却され、それに対する準抗告も棄却されたので、私は3日目の夜に釈放されました。

釈放されてからは、警察や検察の取調べは受けましたか。

はい。東京地検で検察の取調べを受けました。

あなたは後に検察官との取調べにおいて故意を認めるに至っていますね。

はい。

どういう経緯で認めたのか、教えてもらえますか。

あの日の取調べ、私が出頭しまして、最初は和やかに始まったんですけども、私が、やはり当時のことを振り返っても、私にわざとやる

その気持ちはなかったです。故意はなかったと思いますというふうに言ったところ、唐澤検事さんが突然怒り出し始めまして、あんたはうそをついて出てきたのか、あんたは裁判所にうそをついて釈放されたのかと、大きな声で怒鳴り始めました。

そのうそというのは、どういうことなんですか。

私が逮捕されたときの勾留質問の中で、私は客観的事実については認めてるんです。ですので、証拠隠滅のしようがありませんし、勾留は不要なんですということを訴えたんですけども、それが故意まで否認しているというふうに誤解されてしまったようです。

唐澤検事は取調べの中で、故意というのはこういうものだと説明しましたか。

はい。

どういうふうに説明しましたか。

その取調べの中で、唐澤検事はこういうふうに故意について説明しました。■■■さんね、あなたには、ふざけるという気持ちはあったんじゃないですかね、と。で、ふざけるというのは人を笑わせたり、和ませたり、そういういい面もありますよね。でも、一方で誰かを傷つけてしまったり、そういう悪い面もありますよね。例えば最近も、リアリティーショーの女性がインターネットで誹謗中傷を受けて自殺してしまったり、そういうこともあります。そういうこともあなたは分かっていましたよね、と。そして、そういうふざけることの悪い面、人を傷つけてしまうというところから、あのお店だけが除外されるという確信は、あなたにはありませんでしたよね、であれば、あなたには故意があったということなのです、と説明を受けました。

あなたはその説明に納得しましたか。

正直、本当だろうかと疑いました。一般論過ぎるのではないか。本当にそのロジックで私に故意があったということになってしまうのかと

というのは、ちょっと個別具体的な部分が欠けてるんじゃないかと思いました。しかし、確かにふざけるという気持ちはありましたねというところに関しては、今回の騒ぎは、私が飲み会のことを濃厚接触とはやり言葉で言い換えてみたり、俺はコロナだという見出しを面白がって、そのリアクションを投稿してしまったというところから始まっていますので、そういう意味において、ふざけているという気持ちが全くなかったと否認することは、それは難しいように思えました。その上でふざけるということが誰かを傷つけることも時にはあるというのは、それは一般論として私も了解しています。で、その一般論の適応がそのお店だけ逃れるとも特に思っていない。それは正しいように思われましたし、それが故意なんだと、それで故意が認められるのは、そうなのかもしれないと思いました。

あなたは、その場で検察官に疑問を呈したり、あるいは反論したり、そういったことはしたんですか。

できませんでした。というのは、最初に怒鳴られてしまったことで、頭が真っ白になっていました。特に、お前はうそをついて出てきたと言われてしまって、僕にはそれが本当なのかどうか分からなかったんですけれども、本当だとしたら、僕の釈放自体が不正だということになってしまうので、このまままた留置場に戻されてしまうんじゃないかと、あるいは偽証罪に問われてしまうんじゃないかと、いろんなことを考えて、分からなくなりました。あとは、そういう強圧的な検事に対して、こちらは法律の知識がなくて、向こうは法律のプロですので、法律のプロである検事さんが、私にそれで故意が認められると説明したのであれば、それは受け入れるしかないというか、反論することはできませんでした。

ある書類を読み上げますので、聞いてみてください。私は、ふざけて人を楽

しませるつもりで投稿しました。もっとも、私はふざけるということは、どこか危ないことがあるかもしれないという気持ちでもいました。危ないというのは、誰かに迷惑をかけるかもしれないということでした。私自身、これまでの人生の経験から、何かをふざけることは誰かを楽しませることがある一方で、誰かを傷つける可能性もあるということは分かっていました。これは何のフレーズだか、分かりますか。

はい。

何ですか。

唐澤検事が作成した検察官面前調書です。

これは、あなた自身が話した言葉ですか。

いいえ。唐澤検事が話した言葉です。

検事の作文ということですね。

はい。

もう少し引用します。私は、店の業務を妨害するつもりはなかったなどと述べていました。しかし、その後、この事件のことを時間をかけて見つめ直し、自分がやったことはどういうことだったのかということをよく考えて、先ほど述べたとおりの考えに行き着きました。ですので、私はこの店の業務を妨害するという認識でこの投稿を行ったことに間違いはないのです。これは、あなたの言葉ですか。

いいえ。唐澤検事が書き加えました。

あなたはこういった言葉について納得した上で調書にサインしたのですか。

いいえ。納得はできませんでした。

なぜ納得いかない調書にサインしてしまったのですか。

先ほど言ったとおり、最終的に法律の専門家である検事の言うことに反論できなかったということもありますが、一番大きいのは私が故意を認めないと、示談の取次ぎをしないとと言われてしまったことでした。

示談の取次ぎをしてもらえないと、どういうことになるんですか。

当時、私の事件は[REDACTED]社員、うそをついて逮捕とテレビでかなりセンセーショナルに報道され、ネット上でも炎上とっていい事態になっていました、[REDACTED]

[REDACTED]。示談を成立させることができれば、元の社会生活には戻れないだろうという強い恐れがありました。

示談させてもらえない恐怖から、嫌々サインしてしまったということですか。

はい。

この唐澤検事の調書以外に、あなたは本件に関して取調べの際に調書を作成されてますか。

はい。

何通ぐらい作成されましたか。

逮捕前の警察での取調べが一つ、逮捕後の警察での取調べが一つ、その翌日の検察での取調べが一つ、計3枚です。

唐澤検事のものも含めて4通ということですか。

はい。

その3通の中で、あなたは故意を認めていますか。

認めていません。

4通の中の3通において故意を否認しているということですね。

はい、そうです。

この裁判において、故意を否認するという調書というのは証拠として出ていますか。

いいえ、一つも出ていません。

検察官

まず、令和2年3月当時の状況ですけれども、あなたはこの当時新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に問題になっているということ自体は分かって

ましたか。

認識はありました。

それで、まず、令和2年3月17日の午後8時15分にツイッターの自分の小野マトペというアカウントで「私はコロナだ」というツイートを投稿したんですよね。

事実関係としては、そうです。

念のため確認ですけれども、あなた自身は別にこの当時コロナウイルスには感染してなかったんですよね。

私はコロナウイルスに罹患していませんでした。

ただ、このツイートの字面だけを見た人からしたら、あなたがコロナにかかっているのか、実際にはかかっていないのかというのは、見た目では分からないという点は分かってましたか。

いいえ。字面どおり解釈とおっしゃいましたが、字面どおり解釈した場合、「私はコロナだ」といううなぎ文の文章ですので、私がコロナウイルスだといううなぎ文のジョークであることは分かるようになっていました。

裁判官

私、それ初めて聞いたんだけど。

そうですか。

みんなが分かるという感じですか。私がコロナだというふう書いてある文章がそのうなぎ文と、そういうふうに取り読むというのは、私、初めて知ったんですけど、恥ずかしながら。

全員がそうではないと思います。確かに分かりにくい表現だったと思います。

多数を占める感じですか。ちょっとすごい恥ずかしい気持ちになってるんだけど、私、知らなかったもんだから。

うなぎ文だという明確な文脈が分かる人は多くはないと思います。

検察官

あなた自身は、この「私はコロナだ」というツイートをしたきっかけは、その前のいつの時点だったか、はっきり分からないけれども、俺はコロナだというふうに発言して業務妨害で逮捕された人があるというネット記事を見たから自分もこういうツイートをしようと思ったということですよね。

いや、自分もそういう発言をしようという意味ではなく、そのニュースの見出しを見て、リアクションとして、その見出しのインパクトに対して、こういう、俺はコロナだというフレーズを面白いというか、私がコロナだと言っているように思えるというような気持ちを抱いて、その面白さをリアクションとして表現しようと思いました。

あなたのツイートになっているきっかけのニュースは、俺はコロナだという発言をした人が業務妨害で逮捕されたという内容だったという点は間違いないですよね。

私は、そのニュースは、乗客トラブルになった男性が俺はコロナだと言っていた、で、逮捕されたという話でしたので、俺はコロナだと言ったことが原因なのか、乗客トラブル、乗客同士のケンカ等で逮捕された、その中でそういうことを口走ったために逮捕されたのかというのは、私には当時分かりませんでした。

そうすると、この俺はコロナだと発言した人のその発言の文脈が、あなたが言うように、うなぎ文として取られたかどうかというのもそもそも分からなかったんじゃないですか。

その電車内の男性の発言もうなぎ文だったのではないかということですか。

いいえ。その内容としては、俺はコロナだと発言して業務妨害で逮捕ということなんですよね。実際にはそれで暴れたとかいうのが入っているのかもしれない。

れないけれども、タイトルとしてはそういうタイトルになってるんでしょう。

はい。見出しには、俺はコロナだ、業務妨害、逮捕というような内容だったと思います。

すると、自分はコロナウイルスだというふうなうなぎ文と言われているものを使ったわけではなくて、自分がコロナに感染しているというふうな言動だからという文脈で理解されて逮捕されたんだというふうには考えなかったんですか。

逮捕の要因については、私は分かりませんでした。

その後、 さんの飲み会に参加してるんですよね。

はい。

あなたが使っているツイッターのアカウントは、自分の投稿に対してリブライ、要は返信が来たときにスマートフォンに通知が来る設定にはしていませんか。

していました。

午後9時7分頃に最初の「私はコロナだ」というツイートに対して「ヤバイヤバイw」というリブライが返ってきていますよね。

はい。

これについても、あなたのスマートフォンには通知が来ているはずですよね。

来てたはずです。

その通知を見た時点というのは分からないんですか。

当時、会社のチャットや監視システムなどの通知がたくさん来ていました。また、飲み会の最中でしたので、いつの段階でその通知画面を確認したのかというのは、正直、記憶にありません。ただ、見たこと自体を否認するものではないです。

通知画面ってスマートフォンの電源ボタンを押したら最初に現れる画面ですよ。

はい。

あなたは午後9時13分頃にお店の中で1枚目のお店のガラスが横向いて写ってる写真を撮っているけれども、このときにはスマートフォンの電源を入れてますよね。

入れています。

このときまでに通知を見たんじゃないですか。

それは分かりません。先ほども言ったように通知は常にたくさん来ていましたので、気が付かなかった可能性というのはあるとは思いますが。写真の話をしたのでそのまま続けますけれども、まず、9時13分に店のガラスが写っている写真を撮ったけれども、このときはガラスのロゴは写真のカメラに向かって横を向いている状態で写っていますよね。

たぶん、そうだと思います。

その1分後の午後9時14分に、もう1枚、今度はガラスのロゴをカメラの正面に自分で向け直して写真を撮ってますよね。

ロゴを見やすくするとか、そういった視点から位置を変更したものでないです。

ただ、あなたの行動としてガラスのロゴが向いている面をカメラのほうに向けた上で、写真を撮影してますよね。

はい。そのロゴが、そうですね、正面を。変更したところに正面が来たという形です。

その後、この写真、2枚目をトリミングして投稿していますけれども、2枚撮った写真の中で2枚目の写真を選んだのは、そもそも1枚目には参加者のネームプレートが写ってたというふうな話をしましたよね。

はい。

2枚目についても、写真は撮り直したものの、 さんらしき人の携帯の画面が写ってたから写真をトリミングしたという話でしたよね。

はい。

そうすると、あなたは写真を投稿する前に写真の中に何か個人情報が入っていないかというのはしっかり確認したんですね。

そうですね。

なぜ個人情報が写ってたらまずいと思ったんですか。

それは、一般的な常識で判断しました。

一般的な常識って何ですか。

自分以外の人間がある場所にいるかどうかを公表する権利は、その本人が制御する、制御するものであって、私がこの人がここにいるというふうなことをあまり軽々にネット上で明らかにするべきではないという理解をしています。

要するに、あなたが、その写っている人の許可なしに個人情報をネットに上げたら、ネット上でその人がどこにいるか特定されてしまうかもしれないから、そういう情報は載せてはいけないということですか。

少なくとも私と一緒にいることは分かりますので、それも軽々に公開すべきかどうかというのは、本人のいろいろな事情によりますので、そういうことは一般に避けます。

それと、実際には、あなたが意識してたかどうかはともかくとして、お店のロゴがあなたが投稿した写真に写ってしまってるんだから、写真を見た人がそれがどの会社が経営してる系列の店かというのは特定できる可能性があるのは分かりますよね。

当時は分かりませんでした。

今、常識的に考えて、どうですか。

私はそもそもそのグラスに写っているロゴがそのお店のものなのか、例えばビールメーカーのエビスとか麒麟とか、そういうよくあるビールメーカーのロゴなのかも分かっていませんでした。私は

■■■■■に行ったのは初めてで、そのロゴがどのようなロゴであるかということも特に分かっていませんでしたので、そのロゴが直ちにそのお店のどこで飲んでいるかということを明らかにする機能があるかということについては私は認識はありませんでした。

ちなみに、これまでツイッターで過去に問題になったこととして、誰かが投稿した写真とかツイートからその人の個人情報や特定されたり、その人がいるお店の場所が特定されたりした事件があるというのは聞いたことはありますか。

ありますね。写真から位置情報が特定された。

アルバイトの店員がわるふざけをして、お店の中で不衛生なことをしてる写真とかをアップして、そのバイト先が特定されたりするような事件が一時期結構頻発してましたけど、そういう事件を聞いたことはないですか。

そういう事件は聞いたことがあると思います。

あなたが今回投稿した写真ってビールグラスだけがアップで写っているようなものではなくて、グラスが置かれている机とか、一緒にいた人の服の袖とかも写ってますよね。

服の袖は写っていますね。確か写ってたと思います。はい。

実際に被害に遭った会社のほうは、捜査の状況を見てると、別にビールのグラスのロゴの色だけじゃなくて、グラスが載っている机の傷の状況まで、この神保町店と一致してるのを確認してるみたいだし、神保町店の店員さんも写真に写っている服の袖の人と似た人がいるなというのをこの当時見て確認してるんだけど、そういうふうに、あなたの写真についてもいくらかでも写した場所が特定される可能性があるのは分かったんじゃないですか。

その認識はありませんでしたし、あのテーブルの画像から、一般に、つまり嫌がらせとしての機能を果たすだけのお店の特性を、あれをインターネットで見た人が特定できる材料だったかどうかは分かりませ

ん。それはお店の人が一つ一つ、その場にあるテーブルと見比べて、

ああ、この机ですねと言うことは可能でしょう。

この写真とともに濃厚接触の会というふうな言葉を添えてツイートをしていますよね。

はい。流行語として、時事ネタとして、飲み会を濃厚接触と言い換えました。

この濃厚接触というのをあなたが投稿した当時、濃厚接触という言葉の本来の使われ方は新型コロナウイルスの感染者と近距離とか長時間接触した場合を指すというのが本来の意味合いであるということは分かってましたか。

いいえ。その認識はありませんでした。

じゃあ、元々濃厚接触という言葉がどうやって出てきたかは分かってなかったんですか。

すみません、濃厚接触というタームについての正式な定義というのはあるんでしょうか。私がその後探したんですが。つまり、濃厚接触といったときに濃厚接触者がその場にいる会合かどうかということは、定義として含まれているかどうかは、私はその取調べを受けた後、調べましたが、そういった定義は特に見つかりませんでした。濃厚接触者の定義はありましたが、濃厚接触の定義は見つかりませんでした。ですので、濃厚接触の会といったときにコロナの感染者がその場にいたということを明らかに明示する用語かどうかは、僕は今もってよく分かっていません。

本当に分かってないんですね。

そうですね。

裁判官

どういうふうに受け止めればいいんですか、じゃあ、濃厚接触の会って。

少なくとも、当時私が思ったのは、メディアで多人数での飲み会とか

カラオケであるとかってということが避けるべき濃厚接触だと紹介されていたので、私はそういう意味しかないのだと理解していました。

検察官

あなた自身は、濃厚接触という言葉が冗談だったか何だったかはさておき、投稿者が他の第三者複数人と、近距離とか長時間一緒にいるということを指し示すことだというのは分かった上でツイートしてますよね。

そういう意味でツイートしました。

あなたは、「私はコロナだ」というツイートも濃厚接触の会というツイートも、いずれも小野マトペという名前のアカウントで投稿してますね。

はい。

二つのツイートの間に別にツイートを投稿したということはないですね。

特にはないです。

あなたの小野マトペという名前のアカウントだけれども、証拠見てると、事件の翌日、3月18日の時点でフォロワーが8933人いますね。

はい。

すると、この8933人は、各自自分のツイッターを開いて自分のタイムラインを見たら、あなたのツイートは勝手に流れてくる状態にあるわけですね。

全員のフォロワーが私のツイートを見erとは限りません。というのは、ツイッターはあるフォローしてるユーザーの発言が時系列的にそのタイムラインに流れてくるという仕組みですので、各ユーザーは通常数十人から数千人の人をフォローしてますので、ツイートというのはあっという間にタイムラインを流れていってしまいます。ですので、ツイートは、基本的にそのツイートをしたときにツイッターを開いた人には表示される可能性があるという性質のものになっています。

タイミングは置いといて、ずっとツイートをさかのぼってスクロールしていったら、見れるんでしょう。

そういう使い方をする人は少数です。あるかもしれません。

裁判官

8900人が必ず見たでしょうという質問じゃなくて、見る可能性があったことは分かってたんじゃないんですかという趣旨の質問。

実際に見る人はそれよりもかなり少数だとは思いますが。

質問をずらさないで答えてくださいよ。質問は、8900人が見たでしょうじゃなくて、見る可能性があったことは分かったんじゃないですか、ということが聞きたいんだと思いますよ。

私は、あのツイートに関しては、可能性としてはそれは・・・。

フォロワーが多かったり、いいねがつくというのは、いわゆる承認欲求が満たされることになるんじゃないんですか。

ツイッターに関していうと、誰かに見てほしいとかっていうよりは、それは使い方は人それぞれですけども、そのツイート、お腹空いたとか、ツイートはつぶやきというふうに日本語では翻訳されていたけれども、日記的な、独り言的な内容を言って、表現するということが主で、私も昔からそういうふうに使っていましたので、これだけの人に見られたいとかっていうようなそういう気持ちだったでしょうと言われると、そういうわけではないです。

あなたは、XXXXXXXXXXで勤務していた、どちらかというとインターネット関係について非常に強い人で、ツイッターは8900人ものフォロワーを抱えて、また、最初のほうでおっしゃっていたけれども、何かシステムを開発して、たくさんの支持を得られた、どっちかというとネット上の成功者でしょう。そんなふうと言われて、なるほど、そうかとはなかなか思うことはできないですよ。普通の人よりもはるかにネット上のことに詳しいし、活躍されてたんじゃないんですか。

そうですね。ですので、今回、こういうリアクションとして、「私はコ

ロナだ、のような発言をしたり、コロナ患者が飲み会をしてると疑われるような発言をしてしまったことに関しては、本当に不注意だったと考えています。

検察官

ツイッターのアカウントって鍵をかける、要するに、自分が自分のアカウントのフォローを許可した人以外には自分のツイートを見れないようにすることができる仕組みがありますよね。

はい。

当時、あなたは特に自分のアカウントに鍵はかけてないですね。

はい。

それと、当時、あなたがツイートした内容って、例えばあなたをフォローしてない第三者が濃厚接触というキーワードで検索をかけても、そこにたどり着く可能性はありましたね。

はい。濃厚接触というキーワードで検索した人は、たどり着く可能性はあります。

一般的にある投稿を見た人が、そのツイートに対していいねというボタンを押してリアクションができるということ自体は、あなたはよく知ってますね。

はい。

いいねが押されてるということは、そのいいねを押した人が当該投稿を見たことになるというのも分かりますよね。

そうですね。

事件の翌日の時点で、あなたが投稿した「私はコロナだ」というツイートにも、濃厚接触の会というツイートにも、いずれも複数いいねが付いてますよね。

はい。

すると、現にあなたのツイートは複数の第三者が目にして、そのうちの一定

数がいいねを押したということになりますよね。

一定数ということですが、当該ツイートに付いたいいねの数は、確か2と10とか、それがぐらいの数字だったと思うんですけれども。取調べを受けた時点でもその程度の数字だったと思うんですけれども。いいねが二つとか10個とかっていうのは、私のツイートとしてもとても少ないほうというか。それは別にいいねが二つ付いたからうれしいとかっていうことになる状態ではないです。

私の質問の趣旨が分かっていないようなんですけれども、現にあなたのツイートは第三者の目に、タイムライン上流れていくことなく、触れましたよね。

はい。一定数のタイムラインに流れたはずです。

ツイッターって個人のタイムラインで見ると、自分がフォローしている人のツイートが全部、誰かを問わず時系列順に表示されるけれども、それぞれの各投稿からその投稿者個人のページに移動できるというのは、当然分かってますよね。

はい。

その個人のアカウントページを見たら、その人のツイートだけが時系列順に表示されるというのも、当然知ってますよね。

はい。

あなたは、アカウントに鍵もかけていないんだから、あなたの投稿にたどり着いた人があなたのアカウントのページを見たら、あなたが投稿した、「私はコロナだ」という投稿の次に濃厚接触の会という投稿が連続して表示されるというのも、当然分かりましたよね。

その場面、つまりそれによって、私がコロナウイルスに罹患していて、それを分かった上でいわゆるコロナパーティーのようなお互いに感染させることをしてるんじゃないかと解釈されたんじゃないかということだと思うんですけれども。私のホーム画面に来ると、「私はコロナだ」

と投稿する数時間前には、私は六本木でお昼御飯を食べたという写真を私はそのとき投稿していましたし、その数時間前には、会社に行ったのに、行くたびに逆側の電車に乗ってしまったというような、そういった日常的な投稿をしています。ですので、二つのツイートを文脈として紐付けるために私のホーム画面に来た場合、私が病気ではなく、元気に生活してるというのは文脈上は分かったと思います。

今私が質問したのは、そういうことではなくて、あなたのアカウントのページを見たら、事実として、「私はコロナだ」というツイートの次に濃厚接触の会というツイートが表示されるの分かってましたよねということです。

事実として、私の、はい、ホーム画面では二つのツイートが連続して表示されます、

警察、検察庁での取調べの話を聞きたいんですけども。あなたとしては、客観的な事実のところ自体は、警察に任意で事情聴取されていたころから、きちんとしゃべっていたんですか。

はい。

あなたが怒鳴られたとおっしゃっているのは、取調べとしては、最後の令和2年8月7日の取調べのことですか。

はい。

そのときは故意を認めないという点について怒鳴られたわけですね。

そうですね。

逆にいうと、客観的なところについては、警察での任意の取調べの段階から一貫してきちんとしゃべっていたということですか。

はい。思い出せる範囲できちんと答えたと思ってます。

飲み会中の午後9時7分に、あなたの「私はコロナだ」という投稿に対して、「ヤバいやババw」というリプライが来てるという話がさっきありましたよね。

はい。

そのリプライを見た時点について、取調べでは今日と違うことを言ってませんか。

はい。当時は、飲み会の状況を言われるままに、できるだけ正確に思い出そうとしました。で、その中で「ヤバイヤバイw」というリプライが来ていたということは見たはずだと答えました。

「ヤバイヤバイw」というリプライをいつ見たと答えましたか。

そのリプライが来たときに見たと答えました。

濃厚接触の会というツイートをするまでの段階で、リプライを見たという話をしてますよね。

はい。ですが、それについては逮捕後の検察での取調べで、いつ見たのかというのはやはり記憶には、確かなことは言えないというふうに言っています。

あなたの令和2年7月30日付けの検察庁での弁解録取書、それから令和2年8月7日の検面調書、いずれも二つ目の投稿の前に、「ヤバイヤバイw」という通知を見たというふうに書かれてますけれども、そのように話して、署名指印したんじゃないんですか。

その可能性は、その可能性というのは、その投稿の前に見た可能性もあります。はい。

あなたは、少なくとも、客観的な事実については、警察での任意の取調べの段階からきちんと話していたんでしょう。

私が投稿した事実については、私も主体的に書き込んでいますので、当時のログと突き合わせて明確に記憶を思い出すことができましたが、私が書いたことではなく、リプライがいつ来たのかということについては、記憶がやはり曖昧ですので、曖昧だと答えるほうが正確だと考えました。

すると、あなたとしては、検察庁での弁解録取のときも、その後の取調べのときも、通知をいつ読んだかというところについては、記憶は曖昧だったと言いたいんですか。

そうですね。曖昧でした。正確に思い出したときに、例えば飲み会の人と話してるときに見たのか、トイレに行ったときに見たのかというのを思い出そうとしたときに、それはいつなのかというのを思い出すことができなかったのも、不正確なことは言えないなと思い、正確な日時は分からないと言いました。

調書には、検察庁での弁解録取のときも8月7日の検察庁の調書のときも、いずれも濃厚接触の会の投稿よりも前に、そのリプライを見たとはっきり書かれているけれども、あなたは曖昧だったと話したというんですか。

逮捕後の検察官との取調べの中では、曖昧ですと答えたと思います。すると、あなたの記憶とは違うことが調書に書かれたことになるんですか。

検察官の取調べの調書では、すみません、どう答えていましたっけ。検察庁で2回取調べを受けてますよね、弁解録取と8月7日釈放後のときと。釈放前のやつです。

釈放前の検察庁での取調べのときの調書も釈放後の調書にも、いずれも二つ目の投稿よりも前にリプライを見たというふうに書いてますよと言ってます。

最後に作った調書では、私は時間は覚えていませんが、少なくとも通知画面は見たはずですよなどの供述をして、それを調書にしてもらった記憶があります。

8月7日の取調べの調書では、2回目の投稿よりも前に通知を見たかどうかについて曖昧な記載がなされているはずということですか。

そうだと思います。はい。

(乙) 証拠番号2（検察官調書）の署名指印部分を示す

こちらはあなたの署名と指印で間違いないですね。

間違いありません。

この調書の中身をざっくり言うと、まず、9時14分頃に濃厚接触の会と投稿したという話をしていますよね。

はい。

で、あなた自身の携帯電話の通知画面に「私はコロナだ」という投稿へのリプライがあったのを見たという話もしていますよね。

見たと思う、といった供述をしたと思うんですが。最後のやつですよね。乙2号証ですよね。

乙2号証。

すみません、正確にどういう表現をしたかは覚えてないです。

覚えてないということなので、ちょっと誘導しますが、9時14分の投稿のときまでに、「私はコロナだ」という投稿に対するリプライがあったのを見たという発言をしたんじゃないですか。

見たと思うということと言ったという記憶があります。

あなたに先ほど署名押印を確認してもらった調書の記載を見ると、私はそのとき、つまり午後9時14分の投稿までに私自身の携帯電話の最初の通知画面に「私はコロナだ」という投稿に対するリプライがあったのを見ていました、というふうに書かれていますが、そのように話したのではないですか。

それについては、いや、実際にどう話したかというのは、すみません、あまり覚えてないです。

実際にはそのような記載があるというのは、今私が読み上げたので分かりましたね。

記載はあると思います。

そうすると、今日のあなたの法廷の話とこの段階の話は変わっていることになりますね。

はい。

なんで話を変えたんですか。

事件から取調べまでの時点で3か月たっていて、3か月前のリプライをいつどこで受け取ったのかというのは、正確な記憶を保つのは難しいと思います。実際、私は確かに取調べの中で、そういうリプライは確かにもらったという記憶があるので、その通知は見ているとたぶん言ったと思います。しかし、それは、二つ目のツイートの前だろうということも推測して答えました。ですが、後から考えたときに、いや、その可能性は大いにあると思いますが、いつ見たのかという確定的な記憶がやはりないと思い、そのように供述することにしました。

あなたは警察に逮捕された段階で、今の先生とは違う弁護人を、私選で3人、つけてましたよね。

そうですね。

事件については先生方と相談してましたか。

逮捕された時点で、あまり本件の詳しいことについては、相談をする時間も持てないでいました。当時は、被害店舗さんとの示談、コミュニケーションを開くということを最優先にして動いていたので、こういうときにこういうふうに言うとかっていうような、そういった打合せというのはほとんどしていませんでした。

裁判官

弁護士3人を雇ったのは、逮捕される頃じゃなくて、あなたの家に捜索差押が来た後、逮捕される前の時点でだったと思うんですよね。

はい。

それは、どうして雇ったの。

突然取調べを受けて、刑事事件の被疑者になったので。まずはお店のほうに今回は御迷惑をかけたということをお話ししなきゃいけないなとなったときに、自分でお店のほうに直接お話をしに行っているのか

どうかも分かりませんでしたので、その示談というのを、どういうふうに進めればいいのか分かりませんでしたので、プロの先生にお願いしようと御相談しました。

検察官

あなたが逮捕された後、当時選任していた佐々木先生は接見に来てくれましたよね。

はい。

佐々木先生は検察庁に対しても裁判所に対しても勾留請求しないでくれとか、勾留請求については却下されたいという意見書を出されてますね。

はい。

それと、先生との関係でも別に示談の話だけではなくて、刑事の話も十分していたんじゃないですか。

．．．．．。

伝わってないようなので言い直しますけれども、別に当時選任していた弁護士の先生には民事的な示談の関係だけを相談していたわけではなくて、逮捕された後、自分の件が刑事事件として身柄を取られて捜査されているという点について、話をしたんじゃないですか。

もちろん、それはしています。はい。

弁護人との接見や相談を経た上で行われているはずの令和2年8月7日の取調べの時点で、あなたがリプライを見た時点についてあなた自身の記憶は曖昧であるにもかかわらず、二つ目の投稿の前であると断定した調書が作られているのに、あなたは署名指印したということになるんですね。

逮捕後において佐々木先生から取調べについて具体的にどういうふうに答えましょうみたいな打合せというのはほとんどできていませんでした。当時、私はその故意を否認していましたので、否認は続けてもらって大丈夫ですというような、それぐらいのお話しかしてなかった

ので、個別の、ああ言われたらどうだとか、そういうことは全然相談した上ではないです。

自分が取調べを受ける身なのにその辺は一切気にもならず相談もしなかったということですか。

被告人として取調べを受けるのは初めてですので、どういった注意が必要になるかも私は分かりませんでしたし、分かりましたと言って、じゃあ、取調べ、受けてきますみたいなぐらいの話でした。

裁判官

だから、あなたぐらい頭のいい方が警察の捜査を受けたことによって弁護士を3人も雇って、どんなことがこれから起こるのか、不安になるだろうから、どんなふうにすればいいのかとか、弁護士にしっかり相談したんじゃないか、という質問ですよ。

それは、今後どうなるかとか、刑事事件としてどう進んでいくのかというようなことは伺ってはいました。

弁護士もただじゃないので、お金払ったんだし、どういう対応すればいいのかとか、相談を受けたんじゃないのかと。で、相談を受けた上で検察の取調べとかに応じてたんじゃないのかという質問です。

正直なところを話すと、あまりそういった部分について細かいケアをしていただけなかったなという思いがあるので、現在、解任しているという。

弁護人

3点あります。まず、ツイッターの位置づけについてお聞きしたいと思うんですけれども、人が文章を書く理由っていろいろありますね。

はい。

例えば新聞だったらより多くの人に読んでもらうために文章を書くわけですが、日記帳だったら自分一人のために書くわけじゃないですか。

はい。

あなたにとってツイッターに投稿する文章っていうのはどういう位置づけですか。

独り言とまでは言わないですけども、何となくポツと思いついたことを何となく虚空に投げるようなイメージで、それが誰かが見てくれればいいかもしれないし、別に特に反応がなくても構わないといった、そういった日記のようなものでした。

(甲) 証拠番号6 (インターネット検索実施結果報告書) を示す

これは甲6号証の添付資料の6ページ目です。上から二つ目の投稿、何て書いてありますか。

アリなのかそれ。

下から二つ目の投稿は何て書いてありますか。

マジでここから3日でどうやって死ぬんだと書いてます。

これ、文章だけ読むと意味不明な文章に見えるんですけど、あなたはこれどういうつもりで書いてるんですか。

当時ツイッターで100日後に死ぬワニというウェブ漫画が連載されていました。その漫画というのは主人公のワニが100日後に死ぬと予告されて1日1本漫画がアップロードされていました。当時確か97日目にして全くワニくんが死ぬというような雰囲気になかったので、マジでここから3日でどういう展開で死ぬんだろうかっていうことを、思いをツイートしたものだったと思います。

他人に知らしめるための文章ではなくて、単に思いつきを感想として書いてっていうわけですね。

はい。

次、9ページ目を示します。9ページ目の上から三つ目の投稿なんですけど、何て書いてありますか。

b a c kと書いてあります。

これ、どういう意味ですか。

b a c kは多分家に帰ったという意味だと思います。

これ、ほかの人が読んでもまるで意味が分からない投稿だと思うんですけど、あなたはこういうふうにほかの人が文脈踏まえずに読んでもよく分からないような投稿をすることがあるんですか。

はい、しばしばあります。

それはさっきお聞きしたとおり、多くの人に読んでもらう、意味を分かってもらうための投稿というよりは自分のための投稿だからですか。

そうですね、はい。自分のその時思ったこととか、あるいは記録だったり、そういったいろいろな意味があります。

次、2点目です。先ほど、客観的事実については警察で正直に話をしていたというお話をしていました。それについて検察官から厳しいご指摘がいろいろとあったんですけども、あなた自身の感覚においてリプライをいつ見たかという記憶の問題、これは客観的事実ですか。

記憶ですので主観の問題だと思います。

そうすると、あなたとしては客観的事実については話していたっていう話にうそをついたつもりはなかったわけですね。

はい。

3点目です。濃厚接触という言葉についてなんですけれど、濃厚接触という言葉について、あなた自身の考えで結構ですので、これにウイルスをうつすという意味は含まれますか。

いえ、私は含まれないと思います。

人が近接距離において話をしたりする、そういう状況のことを指して濃厚接触と言っているわけですね。

はい。

ウイルス感染を目的として何かをするということに含まれていない。

含まれていません。

そういうことですね。

はい。

裁判官

確認なんだけれども、あなたは比較的名門の中高一貫校に中学から入られたということで間違いないですか。

はい、間違いないです。

一浪して■■■■大学の情報科学部に入られたということで間違いないですか。

はい。

これ、理系なんですか、文系なんですか。

高校では理系コースでした。

ごめんなさい。ちょっと知らないから恥ずかしい質問なんだけど、情報科学部って理系ですか。

すいません。情報科学部は、はい、理系です。

理系の科目で合格したわけですね。

はい。

その後、ヤフーに勤めたり■■■■に勤めたりで、事件当時は■■■■で勤めだしてまだ1年も経たないぐらいですかね。

はい。

この頃の年収■■■■を超えるように記載があるんだけど、間違いないですか。

そうですね。はい、契約書ではそうなってます。

現在は無職ですか。

無職です。

今日時点でも無職ですか。

無職です。

お住まいは実家で変わらないまま。

変わりません。

就職活動はされないんですか。

今、少しずつしています。

■■■■で就職した時に■■■■を超える契約だったと思うので、相当あなたの実績だとか能力は評価されたことになるんですよね。

はい、高く評価していただいたと思っています。

それはやはりアプリなんだっけ、システムなんだっけ、その開発だとかが大きいんですかね。

そうですね。ウェブサービスのふぁぼったーを作ったというのは学生時代から新卒4年目ぐらいまでの話ですので、そこも含めているかと思いますが、どちらかというとヤフー時代後半、私は自ら分散ストレージの開発をするプロジェクトを立ち上げてそれを成功させていますので、その部分での評価をいただいていたんだと思います。

事件とされている3月中旬頃って、これ全国の学校が休校とかなって少し世間がやっぱりコロナ一色でざわついてる時期ですよ。

そうだったと思います、はい。

私もよく思い出せないんだけど、結構高名な芸能人とかがお亡くなりになったのってその後でしたっけ。

ちょっと分らないです。

とにかく学校の休校は間違いないですよ。卒業式のシーズンで、卒業式あるのかないのかとかいうのがニュースでよく流れてた時期ですよ。

休校はちょっとその事件の後か前か。

覚えてないですか。

覚えてないですが。

自分の子供がいなかったら学校のこととかあんまり意識が向かないかもしれないけど。

そうですね、はい。一斉休校が大きな話題になってるのは覚えてます。事件との前後関係はちょっと思い出せないですけど。

今、令和2年の12月で、それから数か月経ってるんでちょっと状況はまた違うですけども、3月の時点でもまあまあコロナって大変な状態だったですよ。

そうですね、はい。私たちも出社しての仕事からリモートワークに完全に切り替わって、大きく生活が変化していました。

あなたは当時リモートですか。

はい。

週に何回ぐらい出社してましたか。

当時は全く出社していなかったんですが、その飲み会の当日だけ会社に出ていました。

飲み会はあなた幹事でしたか。

いえ、私は幹事ではなかったです。

どこの店でやるんだっていうことはどういうふうに周知されましたか。

フェイスブックで〇〇くんから自分の誕生日の飲み会をやるからって来て、その招待を受けて、フェイスブック上でその店舗などが周知されました。

何か地図アプリに連動したりとか。

そうですね、はい。

あとはお店の名前が書いてありましたか。

はい。

そうすると、お店の名前が〇〇であることはこのフェイスブックでよく分かった上で、そのお店に行ったということで間

違いはないですか。

はい。

(甲) 証拠番号6 (インターネット検索実施結果報告書) を示す

甲6号証の添付資料11ページを示します。あなたのツイートの内容でグラフを出してるのがあるじゃないですか。

はい。

これに「お、なんかいい感じなんじゃないの」っていうコメントがついてますが、これどういう趣旨でこういうコメントをつけたか。

これは累積での当時のこれ東京か全国かはちょっと分からないですが、東洋経済のサイト上で表示されていたコロナの感染者数の累計グラフでして、3月17日分が更新されたことで3月多分15、16、17の累計での患者数の傾きが緩やかになっていることが分かると思うんですけども、だから推移が、新規の感染者数が減ったことでここ2日ぐらいはちょっと指数的に上昇するかに見えたグラフが、それが抑えられてデイリーでの感染者が減ったということに関して抑え込みできてるんじゃないか、いい感じに減らせてるんじゃないかっていうことを言おうとしたものです。

そういう趣旨ですか。私、グラフがめちゃくちゃ右肩上がりなので、増えることをいい感じなんじゃないのっておっしゃってるのかと思ったので。

すいません。累計っていうところが画像の中で示されているので、累計でも傾きが下がってるっていう意図でした。

ちょっと何かまた自信がなくなってきたんですけど、そういうふうに読み取るんですね、このグラフ。

いや、その・・・。

すごい素人なので、少しは勉強してるつもりではあるけど、何かめちゃくちゃ人数が増えていて心配な状況だっていうことが言いたいグラフなのかなと

思ったんだけど、そうではないの。

恐らく日ごとの新規感染者数のグラフを貼ってそれを表現した方が確かに分かりやすかったとは思いますが、僕は累計での指数的な増え方が怖いなと思っていて、それが阻まれたということに安心感を感じていたの、分かりやすさというよりも自分が注目したグラフを貼ったということで、人に分かりやすく伝えるということにはあまり考えていなかったツイートなので。

1枚めくってもらって10ページを示します。ここに問題の今回事件となっているツイートがあるわけですが、さっきのグラフと先後関係はどちらが先ですか。

グラフの方が先。

同じ3月17日だと思うんだけど。

グラフの方が先です。グラフを貼って。

新しい方が上に来るんですかね。

はい。

あなた、ヤフーだとか■■■■■でお勤めになってるから、企業のロゴっていうのがものすごい重要だっていうのはよくよくお分かりですよ。

はい、ロゴは重要です。

ヤフーとか■■■■■のロゴの強力さというのは半端じゃないですもんね。

そうですね。

そうすると、今回の会場になった■■■■■もお店の名前が打たれていてロゴなので、このお店としては非常に気合の入ったというか大切なロゴなんではないんですか。

そうだと思います、はい。

どんなビールを飲ませるお店か知らないんだけど、いわゆる大手のビールではないですよ。

そうですね。クラフトビール。

要するに、例えばアサヒとか麒麟だとかサントリーだとかいう大手のビール会社のロゴではないのは明らかですね。

そうですね、はい。

お店のロゴというのは分かりませんでしたか。

・・・当時意識してなかったです。

警察の捜査が始まって、弁護士を雇って示談の関係を進めようかというお話でしたけれども、なぜ示談しようと思いましたか。

それは・・・結果としてそのお店に大変ご迷惑をかけてしまった。で、それについてきちんと謝りたいというのがありますし、もちろん今後起訴などの刑事手続になってしまうというのは避けたいという思いも当然ありました。

なぜ謝らなきゃいけないんですか。

私は自分の不注意を謝りたいと思いました。

結果として迷惑をかけたからと。

はい。

刑事処分の重たい処分にならないように示談を成立させたかったということですか。

はい。

なぜ刑事処分で重たい処分を恐れなければならなかったんですか。

それは・・・刑事手続という場に私はどうすればいいのかというのは全く分かりませんでしたので、とにかく弁護士の先生は法律のプロですので、どう振る舞えばいいのかというのはきちんと教えてもらわないといけないなと思ってその法律事務所に連絡をしました。

示談だから、先方に対しては自分が悪いことをしました、ごめんなさいという意思を伝えようとしたのは間違いはないんですね。

はい。故意ということではないのですが、故意、つまりわざとそのお店に迷惑をかけようとしたことではないのですが、結果としてそのお店に迷惑をかけてしまったということは事実だと思っていましたし、それは私の不注意のせいでしたので、きちんとお話しして謝りたいと思いました。

では、6月の時点では少なくともあなたのツイッターの投稿がお店に迷惑をかけて業務が妨害された結果を生んでいるということは自覚されてたんですね。

はい。取調べを受けて、自宅に神田警察署の刑事さんが来て二つのスクリーンショットを見せられた時点で、こういうことになったと言われた時点でそれは認識はありました。

今回この刑事手続としては9月10日にいわゆる略式ということで起訴されてるでしょう。

はい。

検察官から略式の説明を受けて、それで構いませんという書面を恐らく書いたんだと思うんですけども、それはいつですか。

すいません。日付はちょっと思い出せません。

8月13日ではないですか。もっと9月に近いところでしたか。

・・・すいません。

思い出せない。

思い出せません。

構わないですよ。この頃、初めについていた3人の弁護士たちに相談はしなかったんですか。

していました。ですが、引き続き否認してください、故意を否認する方向で大丈夫ですよと言われていましたが、検事さんとの取調べの中で、いや、あなたはそれは故意なんですと言われてしまったことで、

このまま否認をし続けていいのか、そもそも自分のわざと何かやるという気持ちはなかったですが、それが刑事実務の中で実際に故意とみなされるものなのかどうかは私は自信がなかったというのも、法律上どう評価されるのかということについては私は分かりませんでしたので、これが故意だと言われた時に、では故意はあったのかかもしれないというふうにお答えして、略式手続に同意をしました。

供述調書を作成する時と同時だったかもしれないけれども、書面は違うはずだし、略式をとるためには検察官が説明してるはずなんですよね、法律上ね。

はい。

受けましたよね、略式ってどういうものなのかってということと、どうなるのかってということ。

はい、説明を受けました。私はもうそれで仕方がないと一度思いました。で、同意書面を書いた後、地検の検事さんの部屋からエレベーターに乗ってロビーに戻る時に、助手の方が、もし略式手続にやはり不満があるということだったら、その手続から14日以内だったらやはり正式裁判請求することができますから、もし不満があったらそれでもいいですよというふうに言われ、私は14日間請求できるということとを、事前に説明を受けてなかったんですけども、その段階で説明を受けて、その説明を受けたことで私が同意した故意ってというのが本当はどういうことだったのかというのを再び考えるようになりました。それで、自分でいろいろ本を読んでみて、やはり検事のロジックというのは刑法に書いてあることとは少し違うんじゃないかと自分では思っていて、正式裁判っていう選択肢を考えることになりました。その時、当時の弁護士さんはあまりそこまで熱心に私を弁護してくれたというか、取調べにおいてもきちんとサポートしてくれたという実感がなかったですので、また、私が故意を認めた時も、■■■■さんがそれでいい

ならいいですみたいな感じでしたので、ほかの先生にお願いするとい
うことを考え始めました。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

弁護人

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

裁判官

了解です。分かりました。ありがとうございます。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

以 上